

(1) 計画の推進に向けた考え方

ウ 歴史的遺産と共生するまちづくり

長引く景気の低迷や少子高齢・人口減少社会の進行など、地方公共団体をとりまく社会経済状況は、厳しさを増しています。

本市ではこれまでも、行財政改革に関するプランを基軸に、職員数適正化の推進、給与の見直しによる経費の削減や収入確保策など、健全な行財政運営に向けた取組を進めてきました。

しかしながら、今後、東日本大震災を踏まえた防災、減災対策や公共施設の老朽化対策への対応に迫られ、本市の行財政運営は、危機的な状況を迎えています。

このため、これまでの行財政運営のあり方を改め、新たな課題に柔軟に対応できる持続可能な行財政運営に転換することが喫緊の課題となっています。メリハリのある、効率的な行財政運営を行っていくことはもちろんのこと、市民力・地域力を生かした市民自治の考え方を大胆に取り入れた持続可能な都市経営を進めていくことが必要となります。

また、鎌倉の貴重な歴史的遺産を守り、発信するとともに、それらと共生するまちづくりを進めていく必要があります。

1 事業評価結果一覧表

歴史まちづくり推進担当

評価対象事業名		決算値 (千円)	総事業費 (千円)	26年度 職員数 (人)	今後の方向性	
整理番号	事業名				事業内容	予算規模
歴史-01	世界遺産条約登録事業	7,612	22,622	2.0	b	B
歴史-02	歴史的遺産と共生するまちづくり推進事業	1,581	16,591	2.0	b	B

2 平成26年度末の目標

歴史まちづくり推進担当

・比較研究事業や普及啓発事業などの神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会の事業を進め、「鎌倉」の価値の再認識及び再発見に取り組むとともに、再推薦・登録に向けた市民等の機運の醸成を図る。

・まちづくり行政と文化財保護行政の考え方を兼ね備えた「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」に基づく、歴史的風致維持向上計画の策定に向けた準備作業を行う。平成27年度中に本計画が認定されるように取組を進める。

3 平成26年度の取組の評価

歴史まちづくり推進担当

効率性	計画全体の推進に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善
妥当性	計画全体の推進に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
有効性	計画全体の推進に向け、適切な成果が得られていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
公平性	計画全体の推進に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善

・神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会において、比較研究等の再推薦・登録に向けた取組を実施した。

・(仮称)鎌倉市歴史的風致維持向上計画の策定に向けた検討を行った。

4 今後の方向性

歴史まちづくり推進担当

・比較研究等により、「鎌倉」の価値の再認識及び再発見と、新たなコンセプトの確立を図る。

・構成資産となる可能性を有する社寺等の所有者はもとより、県民、市民、関係団体などの協力、支援の確保に取り組む。

・歴史的風致維持向上計画の策定及び事業の実施を通じて、「歴史的遺産と共生するまちづくり」を推進していく。

5 平成27年度末の目標

歴史まちづくり推進担当

- ・引き続き、神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会において比較研究事業を進めることで「鎌倉」の価値の再認識及び再発見に取り組む。
- ・比較研究事業で得られた知見や成果を、神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会における普及啓発事業などを利用しながら、広く社寺、県民、市民、関係団体などに公開することで、世界遺産条約登録事業に対する理解を深め、幅広い支持を得るよう、取組を進める。
- ・歴史的風致維持向上計画に登載する構成事業については庁内の関連部署との連携を図るとともに、実施計画にどのように位置付けるかを検討する。

鎌倉市民評価委員会の評価

1 評価できるところ

- ・歴史遺産が息づくまちであることが鎌倉の都市としての価値を高めており、これらを守ること、そしてさらに研究等を進めてその価値の高さを皆が認識していくことが、鎌倉らしさを市民一体で守っていく事に繋がっていくと思う。本施策は古都鎌倉としてとても重要な取組であり、今後も続けていってほしい。
- ・鎌倉はその豊かな歴史性、地域的特性から、歴史的遺産や、文化財の保護が宿命であることは理解できる。また鎌倉市民意識調査においても、歴史的文化に対する関心度は高い。

2 課題・提言

- ・施策の意図や実際の研究等の活動は今後ずっと重要だと考える。一方、世界遺産登録を目指すことに関しては、その必要性があるのか。これまでの経緯ふくめ、市民として疑問に感じることは非常に多い。
- ・「歴史的遺産と共生するまちづくりの視点に立った基本計画」の内容や具体的目標について、もっと市民に分かりやすい説明・周知を行ってほしい。
- ・歴史文化交流センターは閑静な住宅地内に立地することから、その周辺環境への配慮は必要であるものの、鎌倉の文化情報を発信する施設として、興味をひく魅力的な施設である必要があると考える。
- ・学習をしにくる小学生中高生が、鎌倉の歴史文化に、多いに興味をもち、「鎌倉時代」に思いをはせることができるようなコンテンツを考えることも必要である。